

東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会 第4回協議会 報告

日時：平成23年9月6日（月）14：00～17：00

場所：安土防災コミュニティーセンター 2階 会議室

1. 開 会

会長の津村近江八幡市副市長より開会のあいさつをいただきました。

2. 議 事

(1)協議会規約の改正

県庁組織の改編に伴う規約改正案を提案し、承認されました。



(2)これまでの取り組みと今後の予定（案）

■事務局説明

水害に備える意識の高揚、地域別避難判断資料の検討、水害に強い地域づくりの検討、水害時畜産業減災対策の検討の各項目について、昨年度の担当者会議および各ワーキンググループでの取り組みを報告し、今後の予定を提案しました。

• 水害に備える意識の高揚

知恵・水害文化の発信の取り組みとして、18の集落で実施した聞き取り調査の結果や、これらの調査結果をとりまとめた水害情報マップやホームページの作成状況、水害経験者による地元住民への伝承について、また、出前講座の試行の取り組みとして、7つの集落で実施した結果を報告しました。今後の予定として、聞き取り調査の継続と市町担当者による出前講座の試行を提案しました。

• 地域別避難判断資料の検討

水位観測局と想定破堤地点（流下能力が低い箇所等）との水位を関連づけた水位関係表等を記載した看板の設置状況や避難情報発令のための既往基準の検証状況等を報告し、水位関係の精度向上や新たな基準の検討方針を提案しました。

• 水害時畜産業減災対策の検討（大中地区）

水害時の畜産業への対応に係わる課題や対応方針等について示した「水害時畜産対応マニュアル（大中地区版）（仮称）」の検討状況について報告し、畜産農家との協議を踏まえてマニュアル作成を進めることを提案しました。

• 水害に強い地域づくりの検討

日野川中流左岸地区における水害に強い地域づくり計画の作成状況やモデル集落として選定した葛巻町（東近江市）における地域防災力向上の取り組みについて報告し、今後、計画への住民意見の反映やモデル集落での自主避難ルールの検討等を提案しました。

■ 質疑応答・意見交換

これまでの取り組みと今後の予定について、各委員から様々な意見が出ました。以下に、主な意見を箇条書きで示します。

- 周知用看板の使い方を住民に説明する必要がある。
- 地域別避難判断資料の検討では、水害時に気になるエリアについて市町の持っている情報を出して、使えるものになるよう議論を進めてほしい。
- 実際に、シミュレーションだけで避難の基準を判断するのは難しいだろう。水害時の伝承などでも活用して、どういう点を確認しなければならないか、どこを気にするべきかを整理するべきである。
- 市町の方は実際に避難判断に関するノウハウを持っているので、実際の降雨時の水害に関する情報を提供していただき、避難判断の改善の可能性を市町間で議論されてはどうか。
- 水害時畜産業対応マニュアルの作成にあたっては、行政・事業者が水害リスクを踏まえて、何ができるかという観点での検討が必要である。
- 水害に強い地域づくり計画は、今後どのように使っていくかを考えていくことが重要である。それぞれの地先で、これを見てどのような対応をするのかが記載されているものが意味がある
- 土砂災害に対する避難についても検討すべきである。



■ 結 果

これらのご意見を踏まえつつ、下記のとおり実施していくことになりました。

- ① 聞き取り調査を継続して実施する。
- ② 全市町において市町担当者による出前講座を実施する。
- ③ 市町の水害時に心配なエリアや避難判断を考えるために必要な指標等の提案を踏まえて避難判断資料を検討する。
- ④ 各行政機関において対応可能な具体的対策の検討を行い、事業者のニーズを踏まえて水害時畜産業対応マニュアル（仮称）の作成を進める。
- ⑤ 水害に強い地域づくり計画への住民意見反映ならびに葛巻町での避難ルールの検討等を進める。

(3) 国土交通省からの情報提供

平成 21 年に相次いだ局地的豪雨災害に対する被害軽減方策を検討された検討会からの提言の中から本協議会の取り組みの参考となる情報について、また、本年 7 月の新潟・福島豪雨の被災状況について、琵琶湖河川事務所から紹介していただきました。

3. 閉 会

事務局を代表して流域治水政策室の西島室長が閉会のあいさつを行いました。